

実りの秋を感じました

町内小学校「手刈り体験」

町内3小学校の手刈り体験が、春の田植え体験でご協力いただいた農家の方々の水田で行われました。(只見小5・6年生/9月26日、明和小5・6年生/9月26日、朝日小学校5年生/10月4日)

児童は、手刈りの大変さや農業の担い手不足による問題の他、農業が機械化されることによるメリットなどを学びました。

手刈りを終えた児童は、「食べられるようになるまで、とても大変だということが分かりました」と感想を話しました。



▲新國真也さんの田で、脱穀のお手伝いもしました(只見小)



▲松井栄吉さんの田で、はぜかけ体験もしました(明和小)



▲藁谷友活さんの田で、コンバイン乗車体験もしました(朝日小)

自然資源を活用した地域振興を目指す

「ブナ林ブレンドワークショップ」開催



▲試食後、商品化に向けて様々な提案が出されました

ユネスコエコパークの自然資源を活用した地域振興の取組みとして「第2回ブナ林ブレンドワークショップ」が9月26日に開催されました。このワークショップは、町の木であるブナやアブラチャン、オオバクロモジ等の樹木の機能性成分に着目し、それらの枝葉を活用した商品開発を目的としています。

参加者は、対象となる樹種を使用した試作品として、生葉を漬けたドリンクや乾燥葉を使用したお茶、クッキー、パンなどを持ち寄り、試食を行いました。また、試食後には、乾燥葉の活用方法や販売に向けた原材料の調達等の課題を検討しました。

デジタル技術で只見町の魅力と水力発電の情報を発信

J-Power 只見展示館リニューアルオープン

只見展示館（運営：電源開発株式会社）のリニューアルお披露目会が9月28日に行われ、渡部只見町長や関係者約20人が出席し、施設内の見学をしました。

リニューアルされた展示館では、普段は立入禁止の田子倉発電所内部をVR（仮想現実）で見学できる他、ダムや発電所の様子をドローンで空撮した映像やダム完成当時の画像をデジタル再現したものが展示されています。

お披露目会では、電源開発株式会社の中谷東日本支社長が「2つのダムが間近で見られるのは珍しい。今回のリニューアルで、只見町の賑わい創出のため多くの人に足を運んでほしい」とあいさつされました。



▲画像をデジタル再現したものからは、当時の様子などがうかがえます

第63回福島県農業賞

目黒広信さん・美樹さん夫妻が受賞報告



▲報告に訪れた目黒夫妻

福島県内の「農業十傑」とも呼ばれる「福島県農業賞」に目黒広信さん・美樹さん夫妻（塩ノ岐）が選ばれ、10月19日に受賞報告に役場を訪れました。

目黒夫妻は、多品種のリンドウ栽培を行い長期間の出荷を可能としていることや環境に配慮した農業経営を実践していることなどが認められ、表彰されました。

受賞について目黒夫妻は、「若い時から支え続けてくれた多くの農業者に感謝しています。引き続き、質の高いリンドウ栽培を続けていきたい」と話しました。

市町村対抗県軟式野球大会と市町村対抗県ソフトボール大会

只見町チーム結果報告会

第16回市町村対抗県軟式野球大会と第9回市町村対抗県ソフトボール大会に出場した只見町チームの結果報告会が10月18日に開かれ、野球の横山大主将とソフトボールの馬場秀明監督、河原田祐太主将が報告に訪れました。

野球、ソフトボールともに善戦するも惜敗で、監督や両主将は「今年の反省を生かして結果に繋げたい」と来年に向けた抱負などを話しました。

また、渡部町長からは「まずは懸命に頑張ったことに敬意を表したい。来年も元気な只見町チームとして頑張ってもらいたい」と健闘を称えました。



▲来年の抱負を力強く話してくれた両チームの主将と馬場監督

秋晴れの下、ふるさとを歩く

「第6回明和ふるさとハイキング」開催

「第6回明和ふるさとハイキング」が10月16日に開催され、約30人が参加しました。今回は、大倉集会施設から大倉八幡神社やつつじが丘分校石碑、ただみ・モノとくらしのミュージアムなどを巡りながら、集会施設に戻る約2.5kmのコースでした。

開会式後、大倉集会施設のそばにある「大倉土地改良沿革の碑」について三瓶藤助さんが解説し、ハイキングがスタートしました。史跡などではクイズが行われ、参加者は最後までハイキングを楽しみました。



▲秋晴れの下、参加者は大倉地区の散策を楽しみました

お菓子をくれなきゃ、いたずらするぞ！

かるがもクラブ「ハロウィンイベント」



▲マントとヨーヨー、ハロウィングッズを手に記念撮影をしました

かるがもクラブ「ハロウィンイベント」が10月7日に開催され、4組の親子が参加しました。親子の触れ合いを楽しんだ後、ハロウィンの衣装や手作りのヨーヨーを作りました。

衣装は黒色のビニールに赤い紐を通してマントをつくり、ヨーヨーはオレンジ色の綿を詰めたビニール袋にゴムを通しカボチャのお化けをイメージした顔をつけました。

子どもたちは、作ったマントやヨーヨーを手に、たくさん体を動かしました。

全力でタスキをつなぎました

「只見町民駅伝大会」開催

新型コロナウイルス感染症の影響で開催を中止した「只見町駅伝競走大会」の代替競技として、「令和4年度只見町民駅伝大会」が10月9日に開催されました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止として、参加チームは町内限定ではありましたが、中学生、一般、男女混成、オープン参加を合わせて全16チームが参加しました。

大会当日は、途中棄権などもなく、全チームが最後までタスキをつなぐことができました。



▲チームの思いをタスキに込め、スタートを切る第1走者の皆さん

只見っ子の心の強さを全国に

三瓶叶^{かなと}翔君、五十嵐^{ちひろ}千紘君 全国大会出場結果報告

三瓶叶翔君（只見中1年・空手）と五十嵐千紘君（只見小6年・剣道）が10月7日に役場を訪れ、それぞれが出場した全国大会の結果を報告しました。

三瓶叶翔君は、カラテドリームフェスティバル2022全国大会に出場しました。結果としては敗退ではありましたが、判定まで持ち込み粘り強さを見せた試合でした。

五十嵐千紘君は、第17回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会（団体戦）に出場しました。団体全体の結果は敗退でしたが、個人成績としては引き分けに持ち込むなど諦めない姿勢を貫きました。



▲渡部町長は「2人の全国大会出場には、多くの人が勇気を貰った」と健闘を称えました

只見町の紅葉を満喫

「第34回ふくしま緑の百景歩こう会」開催



▲多くの方が参加され、只見町内の景色を楽しみました

町と福島県森林・林業・緑化協会、福島民報社が主催する「第34回ふくしま緑の百景歩こう会」が、10月23日に開催され、約230人が参加しました。只見線広場をスタート・ゴールに只見湖沿いを巡る約10kmのコースで、参加者は秋の只見町を満喫しながら歩きました。

参加者からは「緑の募金」が寄せられ、集められた募金は福島民報教育福祉事業団を通じて町に寄附されました。閉会式において福島民報社の関根英樹取締役事業局長から渡部町長に募金箱が手渡されました。

マック小島さんが来町

スクエアダンス交流会

スクエアダンスの教室に通う、または指導を行っている人などが集まる交流会が10月18日に只見振興センターで開催され、只見教室の生徒の他、青森県や埼玉県からの参加もあり、約40人が集まりました。

スクエアダンスとは、4組8人が1セットになって、コーラー（指揮者）の指示に従い踊るものです。基本的な動作（コール）を覚える必要がありますが、幅広い年齢層の方が踊られています。

今回の交流会は、スクエアダンスコーラーとして世界的に活躍されているマック小島氏をゲストコーラーにお呼びし、スクエアダンスを通じて笑顔があふれる交流会になりました。

町内の方でダンス教室に参加したい、または見学したい方は渡部和子さん（0241-82-3242）までお問い合わせください。



▲コールを覚えることで、初対面同士でも楽しむことができるそうです

参加者で共有する素敵な時間

おもいのたけ「夏のおもいで ライブ」開催

様々な企画・活動を行うサークル「おもいのたけ」の主催で「夏のおもいで ライブ」が亀岡サンドバレーコートで開催されました。町内と金山町在住の4人がバンドを結成し、「歌うたいのバラッド（斉藤和義）」など数曲を披露しました。

参加者は、ライブ演奏を聴きながら、夕食や軽食を楽しみ、日頃の疲れなどを癒す時間となりました。

また当日は参加者から寄附を募り、バンドのMC（司会進行）を務めた目黒英樹さんが、福島民報社の芳見社長を通じて、一般社団法人福島民報教育福祉事業団に寄附しました。目黒さんは「只見町の元気を発信し、教育振興に繋げてほしい。寄附は、国際的な支援に役立ててほしい」と思いを伝えました。



▲トレーラーハウス前のデッキ上で演奏するバンドメンバー

SDGsの取組みを発信

只見中学校「ふくしまSDGs博」に参加



▲只見中学校のブースには内堀県知事も訪れました

県内自治体や県内外の企業などのSDGsの取り組みを紹介・報告する「ふくしまSDGs博」が9月24日～25日にビッグパレットふくしまで開かれ、只見中学校がブース出展しました。

只見中学校のブースでは、新聞紙レジ袋の作り方講座の他、訪れた方に「あなたの取り組みたいSDGs」を聞くなどSDGsを広める活動も行いました。

また、SDGs博の最後には、只見中3年の吉津就君と県内の中・高校生6人がステージに登壇し、「誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、互いに助け合いながら行動していく」という思いを発信しました。



虫歯のない子

(10月25日 3歳児検診)



まつまゆ
吉津 茉優さん
(長浜)



さの ゆい
佐野 結英さん
(亀岡)



さの えま
佐野 英菜さん
(亀岡)



ほりがね いふろ
堀金 威風くん
(小林)



かわもと りあ
川元 彩愛さん
(蒲生)